



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月9日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東
 コード番号 9903 URL <https://www.kanseki.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大田垣 一郎
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経理部長（氏名） 熊澤 達郎（TEL）028-659-3112
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第3四半期の業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	26,763	△0.4	337	—	289	—	270	—
2024年2月期第3四半期	26,864	—	△391	—	△434	—	△888	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年2月期第3四半期	36.26		36.02					
2024年2月期第3四半期	△119.15		—					

（注）当社は、2023年2月期第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、2024年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	25,903	6,343	24.2
2024年2月期	25,495	6,146	23.9

（参考）自己資本 2025年2月期第3四半期 6,280百万円 2024年2月期 6,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	10.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	1.8	450	—	420	—	390	—	52.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年2月期3Q	8,050,000株	2024年2月期	8,050,000株
2025年2月期3Q	593,922株	2024年2月期	593,922株
2025年2月期3Q	7,456,078株	2024年2月期3Q	7,456,078株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2024年3月1日から2024年11月30日まで)における我が国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善など景気回復の兆しが見受けられたものの、エネルギー・原材料価格の高騰や物価の上昇、急激な為替変動や金融市場の不安定な動向など先行きが不透明な状況が継続しています。

このような状況のもと、当社は「住まいと暮らしを豊かにするための商品とサービスを提供し、地域の皆様の生活文化に貢献する生活快適創造」のミッションに基づき各種取り組みを実施してまいりました。

当社は、2025年2月期が「創業50周年」「WILD-1事業・創業40周年」となることから、農業体験イベントや西川田まつり・駅東まつりなど地域貢献イベントの開催、周年セールや抽選会、フォトコンテストの実施、記念商品の販売など各種企画に取り組みました。またSDGs活動の一環として、栃木県との協定に基づく栃木県芳賀郡益子町の「カンセキの森」への植樹会やWILD-1店舗近郊のアウトドアフィールドの清掃ボランティア作業を実施いたしました。

営業面では、周年セールの販売促進効果によりホームセンター事業における日用品などの売上が伸長したことや、イベントや外出機会の増加によりWILD-1事業における旅行関連用品や業務スーパーの値ごろ感のある食料品の売上が堅調に推移いたしました。また新たな取り組みとして、ホームセンター事業において、2024年6月から「カンセキアプリ」をスタートいたしました。WILD-1事業においては、FC事業の取り組みを開始し、2024年10月に第1号店となる「WILD-1 福知山店(京都府福知山市)」を出店いたしました。しかしながら、今夏の猛暑、長期間に及ぶ残暑の影響による来店客の落ち込み、ホームセンター事業におけるDIY関連商品の円安を起因とする販売価格の上昇による買い控え、WILD-1事業におけるキャンプ用品が調整局面から抜け出せていないことなどから業績を下振れさせることとなりました。経費面では、人員の効率的運用や各種既存契約の見直し、在庫圧縮による倉庫保管料の削減、新規出店費用の抑制等経費削減策を実施いたしました。

設備面では、新形態の異業態併設型店舗として、2024年3月にオフハウス併設店舗「ハードオフさくら氏家店(栃木県さくら市)」、2024年5月にホームセンター併設店舗「業務スーパー栃木そのべ店(栃木県栃木市)」を出店いたしました。また2024年7月にWILD-1事業3店舗目となるテナント型店舗として「WILD-1 ゆめが丘ソラトス店(神奈川県横浜市)」、2024年9月に「業務スーパー岡本店(栃木県宇都宮市)」を出店いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は、267億63百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は、3億37百万円(前年同期は△3億91百万円)、経常利益は、2億89百万円(前年同期は△4億34百万円)、四半期純利益は、2億70百万円(前年同期は△8億88百万円)となりました。

なお、当社の報告セグメント事業別業績は次の通りです。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業においては、創業50周年に係る販売促進効果により日用品、家庭用品、園芸用品の売上が堅調に推移しました。また台風・豪雨災害、南海トラフ地震臨時情報の発令、頻発する窃盗・強盗事件などの影響による防災・防犯意識の高まりから、防災・防犯関連商品の売上が大きく伸長いたしました。しかしながら、創業50周年記念で実施した10倍ポイントセールや飲料など低荒利益率商品の売上比率が高まったことから、売上総利益率が低下することとなりました。

これらの結果、ホームセンター事業の営業収益は、115億円(前年同期比0.1%減)、セグメント利益は、2億54百万円(前年同期比13.5%減)となりました。

〔WILD-1事業〕

WILD-1事業においては、2024年4月に創業40周年を迎えたことから、他メーカーとコラボした記念商品の販売や各種イベントを開催しました。販売面では、キャンプブーム鎮静化による影響から、キャンプ用品の売上は前年同期を下回る水準でしたが、新型コロナウイルス行動制限緩和による外出機会の増加により旅行関連用品やハイキング用品の販売は好調に推移いたしました。また経費面では、人員の効率的運用による人件費の削減や在庫適正化による倉庫保管料の削減、新規出店費用の抑制等経費削減策を実施いたしました。設備面では、2024年7月に「WILD-1 ゆめが丘ソラトス店（神奈川県横浜市）」を出店いたしました。

これらの結果、WILD-1事業の営業収益は、68億28百万円（前年同期比8.8%減）、セグメント利益は、35百万円（前年同期は△6億47百万円）となりました。

〔専門店事業〕

業務スーパー店舗では、各種イベント再開など業務需要が回復すると同時に、一般のお客様による利用が継続的に増加しました。また一部店舗で取り組みを行っている精肉・青果の販売も好調に推移したことから、売上高が前年同期を上回ることとなりました。

オフハウス店舗では、衣料品の販売が堅調に推移したことや金相場の上昇により、金製品を中心とした宝飾品の売上が好調に推移いたしました。

設備面においては、2024年9月に「業務スーパー岡本店（栃木県宇都宮市）」を出店いたしました。また当社として初めての試みとなる異業態併設型店舗として、2024年3月にオフハウス併設店舗「ハードオフさくら氏家店（栃木県さくら市）」、2024年5月にホームセンター併設店舗「業務スーパー栃木そのべ店（栃木県栃木市）」を出店いたしました。

これらの結果、専門店事業の営業収益は、85億44百万円（前年同期比7.0%増）、セグメント利益は、6億80百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業では、不動産賃貸収入は堅調に推移いたしました。しかしながら、アミューズメント施設収入は、近隣に競合店舗の出店があったことやレジャー多様化の影響により、来店客が落ち込み、前年同期を下回ることとなりました。

これらの結果、店舗開発事業の営業収益は、2億65百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は、1億2百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、259億3百万円となり、前事業年度末に比べ4億8百万円の増加となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加2億34百万円、有形固定資産の増加2億43百万円によるものであります。

負債は、195億60百万円となり、前事業年度末に比べ2億11百万円の増加となりました。主な要因としては、買掛金の増加7億33百万円、短期借入金の増加1億60百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加2億73百万円、長期借入金の減少9億79百万円によるものであります。

純資産は、63億43百万円となり、前事業年度末に比べ1億97百万円の増加となりました。主な要因としては、当第3四半期累計期間において四半期純利益の計上による増加2億70百万円、中間配当の実施による利益剰余金の減少74百万円であります。この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は24.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	748,485	983,133
売掛金	692,643	961,508
商品	7,300,426	7,291,082
貯蔵品	16,178	15,947
その他	614,304	318,434
貸倒引当金	△104	△125
流動資産合計	9,371,933	9,569,980
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,545,468	2,795,833
土地	7,263,670	7,231,770
その他(純額)	773,343	798,607
有形固定資産合計	10,582,482	10,826,211
無形固定資産		
	440,632	432,816
投資その他の資産		
投資有価証券	3,200,995	3,190,879
敷金及び保証金	1,804,967	1,791,203
その他	83,622	85,917
投資その他の資産合計	5,089,586	5,068,000
固定資産合計	16,112,700	16,327,027
繰延資産	10,388	6,815
資産合計	25,495,023	25,903,823
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,541,714	3,275,652
電子記録債務	1,120,557	1,251,880
短期借入金	3,930,000	4,090,000
1年内返済予定の長期借入金	1,483,164	1,756,173
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	25,401	35,066
賞与引当金	-	62,589
ポイント引当金	4,167	4,348
契約負債	416,218	441,993
資産除去債務	77,134	-
その他	775,515	831,970
流動負債合計	10,473,873	11,849,673
固定負債		
社債	600,000	500,000
長期借入金	6,810,341	5,830,731
退職給付引当金	513,479	482,187
資産除去債務	251,054	280,782
その他	699,967	617,072
固定負債合計	8,874,842	7,710,773
負債合計	19,348,716	19,560,446

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	2,448,680	2,448,680
利益剰余金	610,496	806,303
自己株式	△389,287	△389,287
株主資本合計	4,595,889	4,791,696
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,496,382	1,488,408
評価・換算差額等合計	1,496,382	1,488,408
新株予約権	54,035	63,271
純資産合計	6,146,306	6,343,376
負債純資産合計	25,495,023	25,903,823

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	26,864,521	26,763,592
売上原価	19,946,119	19,488,199
売上総利益	6,918,401	7,275,392
営業収入	390,814	380,822
営業総利益	7,309,215	7,656,215
販売費及び一般管理費	7,701,111	7,319,131
営業利益又は営業損失(△)	△391,895	337,083
営業外収益		
受取利息及び配当金	45,033	46,322
補助金収入	18,262	14,415
受取保険金	2,599	5,146
その他	14,701	5,823
営業外収益合計	80,596	71,708
営業外費用		
支払利息	76,523	93,062
支払手数料	37,614	19,040
その他	8,720	6,956
営業外費用合計	122,858	119,059
経常利益又は経常損失(△)	△434,157	289,732
特別利益		
固定資産売却益	-	369
補助金収入	9,300	-
特別利益合計	9,300	369
特別損失		
固定資産除却損	511	2,189
固定資産圧縮損	9,208	-
減損損失	352,288	-
特別損失合計	362,009	2,189
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△786,866	287,912
法人税、住民税及び事業税	24,764	25,406
法人税等調整額	76,745	△7,862
法人税等合計	101,509	17,544
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△888,376	270,367

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

前第3四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

当社は、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
栃木県宇都宮市	店舗	建物及び構築物	71,177
栃木県大田原市	倉庫	土地、建物及び構築物等	281,111

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、原則として各店舗を基本単位としてグルーピングしております。

上記の栃木県宇都宮市の資産グループにつきましては、営業所閉鎖の意思決定、栃木県大田原市の資産グループについては、売却及び倉庫閉鎖の意思決定を行ったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識いたしました。

なお、回収可能価額は正味売却価額にて測定しており、その価額は売却見込価額により算定しております。

当第3四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (注)3
	ホームセンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	11,509,690	7,485,950	7,985,577	269,177	27,250,395	4,940	27,255,335	—	27,255,335
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,509,690	7,485,950	7,985,577	269,177	27,250,395	4,940	27,255,335	—	27,255,335
セグメント利益 又は損失(△)	294,465	△647,044	560,488	105,404	313,312	4,940	318,252	△710,147	△391,895

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない不動産事業等に伴い発生した付随的な収益であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△710,147千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△710,147千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホームセンター」セグメントに係る有形固定資産について281,111千円、「専門店」セグメントに係る有形固定資産について71,177千円を減損損失として特別損失に計上しております。

当第3四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (注)3
	ホームセンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	11,500,220	6,828,406	8,544,688	265,472	27,138,787	5,626	27,144,414	—	27,144,414
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,500,220	6,828,406	8,544,688	265,472	27,138,787	5,626	27,144,414	—	27,144,414
セグメント利益	254,663	35,426	680,737	102,120	1,072,947	5,626	1,078,574	△741,490	337,083

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない不動産事業等に伴い発生した付随的な収益であります。

2 セグメント利益の調整額△741,490千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△741,490千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	438,328千円	357,262千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において、WILD-1事業における商品評価損や減損損失を計上した結果、52億19百万円の当期純損失を計上しております。また、前事業年度末の純資産は61億46百万円(前事業年度比44.9%減)まで減少し、シンジケートローン契約について財務制限条項に抵触しております。これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。しかしながら、借入先金融機関からは、財務制限条項への抵触に基づく期限の利益喪失の請求は行わない旨、書面にて承諾を頂いております。

また、このような状況を解消するために「創業50周年再起動」を経営スローガンに掲げ、各種諸施策の着実な実行などにより、2025年2月期における営業利益の確保に努めてまいります。これらに加え、当面の運転資金及び投資資金において、資金繰りに重要な懸念はないと判断していることから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在するものの、重要な不確実性は認められないと判断しております。